西国巡礼慈悲の道

西国第三番 風猛山 粉河寺

四苦八苦

貫主 逸木盛修

は、 説かれている。 は、「人生は苦である」と 今から二千五百年前 お釈迦さま

佛

教 0) 開 祖

お釈迦さま

ピラ王国の王子として生ま パ ヒマラヤ山脈の麓 ールのルンビニ) で、カ (現え

れ、 者は、必ず病み老い、死を がら「この世に生を受けた 優雅な日々を過ごしな

しい生き方が出来るように

悩の解決を求めて城を飛び に感じていたという。 迎える」ということを切実 十九歳の初夏、 人生の苦

う。

苦」を考えてみたいと思

三、求不得苦

欲しいものが得られな

忽然と悟りを開いたといわ 樹の下で座禅、 出し難行苦行に挑む。 れている。 五歳の時ブッダガヤの菩提 八日目 三十 0 朝

迷いが解かれ、宗教的に正 目覚めることである。心 悟りを開くとは、真理に 0

る。

`

である。

その えるのではないだろうか。 なれば、悟りを開いたとい 真理の一つ「四苦八

> 0) り小なり心身の病に悩み、 に進むとは限らない。大な 活そのものが必ずしも順調 るといわれている。 死 とになるのである。 晩年には老の苦も加わりあ れることのできない苦であ 世からのお迎えを待つこ 日常生

> > 絶対免れることが

根本苦と

後者の四

をプラスして四苦八苦と呼 ばれるようになったのであ

夫婦・親子等の生死の 愛別離苦

出会う 怨み憎しみを持つ人と 一、怨憎会苦

別れ

の四つの苦で、 何人も免

この四苦に次の四つの苦 れ、 は、 言われ、 とも可能である。 できないが、 前者の四苦は、

限りなく零に近づくこ

心の持ち方で軽

減 z

努力が大切であると思うの を考えず、乗り越えてゆく ために、苦から逃げること 少しでも心豊かに生きる

四苦とは、

生・老・病

四、 五陰盛苦

人体で感じる暑い寒い

など



西国第三番

風猛山 粉河寺

粉河観音宗総本山

御本尊/千手千眼観世音菩薩 開基/大伴孔子古

ちちははの 恵みも深き 粉河寺 仏のちかひ たのもしの身や

☆ 主な年中行事 ☆

1月1日~14日 初詣

(開運だるま・破魔矢・厄除祈祷札授与)

1月14日 とんど焼き (午後2時点火)

2月3日 節分会(福豆授与·厄除祈祷終日受付)

3月3日 流し雛

(午後1時祈願祭後、紀の川にて雛を流す)

旧暦初午の日 初午会 (採灯大護摩供、午後2時半点火)

8月9日 旅餓鬼会

(午後4時~午後10時 新仏・水子等の供養)

10月第4土曜日 曼荼羅供会

(午後1時半 各家先祖の永代供養)

12月18日 童男会

(本尊千手観音の化身・童男行者(秘仏)の年1回のご開帳)

參→ 観音風光 → 粉

毎月18日は観音さまのご縁日で、午後1時半より観音月並法要が行われます。本堂でお勤めのあと、法話を予定しています(ただし、8月は15日に、また12月の会場は「童男堂」に変更されます)。

国宝「粉河寺縁起絵巻」の由来により、 病気平癒がかなう観音さまとして知られて います。

ご祈祷受付は午前8時~午後5時です。

ご詠歌の意味

両親(父母)は、わが子ほどかわいいものはありません。同じように、粉河寺の観音さまは、信心深き人々をわが子の如く愛し、万一不時災難に遭おうとも、代わってそれらの苦をお受けになるとお誓いされているから頼もしい身の上ですよと解することができる。

〒649-6531 和歌山県紀の川市粉河2787

TEL 0736-73-4830·73-3255 / FAX 0736-73-2007 http://www.kokawadera/or 納経時間 午前 8 時~午後 5 時

西国三十三所札所会ホームページ http://www.saikoku33.gr.jp

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきましょう。